全国ワースト1の返上に向け ーまちぐるみでー 池袋駅西口周辺で放置自転車対策キャンペーンを実施

豊島区では、本日22日(火)朝8時~9時、「池袋駅西口放置自転車等対策キャンペーン」を実施した。22日は、条例で定める週1回の池袋駅西口の放置自転車の撤去日にあたる。キャンペーンに参加したのは、池袋駅西口の商店会・町会等、JR・東武鉄道・営団地下鉄等の関係者51名、池袋警察11名、豊島区16名の計78名。行政、区民、関係団体が連携・協働し、放置自転車ゼロに向けてまちぐるみでキャンペーンを展開した。(主催:豊島区、池袋警察署)

朝7時45分、池袋駅前の池袋西口公園に集合したメンバーは、8つの班に分かれて西口全ての歩道を歩いて回った。放置自転車には、「知っていますか?!放置自転車全国ワーストNo1は池袋!あなたの自転車も不名誉な1台です。」などと書かれた啓発チラシを一台一台にくくりつけるとともに、「停めないで、道路はあなたの車庫ではありません。」「停める前、みんなの迷惑考えて!」「みんなで守ろう、駐車のルール!」などと朝の街頭で放置防止を呼びかけた。歩道には三角コーン等で柵を設置し、自転車を放置しようとする人には声をかけ、最寄の自転車駐車場の利用を促した。また、池袋駅西口の6つの商店会が共同で街頭に整備した118台のスピーカーからも、放置防止を呼びかける放送がキャンペーンに合わせて一斉に流された。

池袋駅周辺は、総務庁が昨年行った「全国の駅周辺の放置自転車の実態調査」で、放置自 転車台数が全国ワースト1という不名誉な結果となった。今年6月に発表された同調査の結 果によると池袋駅周辺の放置自転車台数は4,326台にのぼる。

こうした中、一向に改善されない放置自転車に対して、行政に任せておくだけではなく、 地域全体で対策に取り組もうという声が、西口周辺の関係団体、区民、事業主からあがり、 今回のキャンペーンを実施することになった。キャンペーンでは、自転車にくくりつけたチ ラシの数を集計して放置台数のカウントも行う。学校がまだ夏休みということもあり、今朝 の放置台数は 1,436 台だった。まちぐるみのキャンペーンは、当面、毎月1回程度で定期的 に継続していく予定。

1日の乗降客数が300万人とわれるマンモスターミナル池袋駅には、地下鉄を含め数多くの駅への出入口がある。出入口が多い分、自転車の放置場所も広範囲にわたり、駅周辺の 歩道いたるところに放置自転車が溢れている。

今回キャンペーンを実施した池袋駅西口には、現在、区立自転車駐車場2箇所(2,564台)と民営自転車駐車場1箇所(1,100台)をあわせて3箇所(3,664台)の駐輪場が設置されている。駐輪場の整備にあわせて昭和63年から条例に基づく放置禁止区域に指定し、駐輪場利用と放置防止を呼びかけてきた。

しかし、「朝は1分でも時間が惜しい」「自分の1台くらいなら」という利用者の意識を変

えることはできず、放置自転車は減っていない。溢れる放置自転車を前に、区では条例に基づく撤去を行っているが、保管場所等の問題もあり、池袋駅西口で撤去できるのは週に1回、250~300台。それでも年間にすると約1万台にもなる。1台あたりの撤去・保管には約4,700円の経費がかかっている。

キャンペーンに先立ち、池袋西口公園に集まった参加者を前にあいさつした高野区長は「『どこにでも止められる』『ちょっと1台ぐらいなら』と思う心が、放置自転車を生み出す原因となっている。便利で環境にもやさしい自転車は、子どもからお年寄りまでが利用できる都市の交通手段として見直して、自転車専用路などの整備を進めていきたい。そのためにも、自転車利用のモラルを確立していく必要がある。全国ワースト1の不名誉を一日も早く返上し、さわやかな街・池袋を実現しよう。」と語った。

なお、今年7月から区では放置自転車対策の新しい試みを始めた。今年4月に整備した池袋駅東自転車駐車場(550 台収容)で、30台のレンタサイクルを試行的に導入したのである。1台の自転車を複数の人が利用し合うレンタサイクルでは、3人で1台利用すれば3台分の駐輪スペースが1台分で済む計算になる。繁華街でのレンタサイクル導入は全国でもめずらしく、利用状況が注目されていたが、出足は好調で8月15日現在35人の定期利用者が登録しており、自転車も5台追加して35台になっている。区では、今後順調に推移すれば100台まで増やすことを計画している。

問い合わせ:交通安全課長

ホームページ開設準備検討委員会

検討事項

- (1)要綱
- (2) 開設期日
- (3)委員会の今後予定